

2019年1月11日

2018年12月20日、文部科学省大学入試室様から受領したご質問につきまして

公益財団法人日本英語検定協会

拝啓

平素よりたいへんお世話になっております。昨年は大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、先般、昨年末12月20日に私どもにお送りいただきました、文部科学省 大学入試室様よりのご質問事項につきまして、以下、ご回答させていただきます。ご査収の程、宜しくお願い致します。

宜しくお願い申し上げます。

敬具

【記】

Q1. 各試験団体における試験対策問題集作成の基本的な考え方

＜確認の観点＞

- ・問題集に掲載する問題と実際に出題する問題との関係性はどのようなものか
(基本的な考え方や同一問題又は類似問題出題の考え方など)
- ・英語力が向上していないのに点数が取れるような対策となっていないか

ご回答：

- ・「大学入試英語成績提供システム」に採用されました、英検協会が現在、実施・運営しております試験は全て（英検-CBT・TEAP・TEAP-CBT）、非公開の試験であります。英検協会では、どれも英検協会公式の試験対策問題集を作成しておりません。したがって、当該質問事項の回答と致しましては、「存在しませんので、お答えの仕様がございません」というのが最善かと存じます。

Q2. 問題漏洩などの不正を疑われないために注意して取り組んでいること

＜確認の観点＞

- ・どのような漏洩対策を行っているか
- ・関係規定はあるか

ご回答：

- ・ Q1 で回答したとおり、「大学入試英語成績提供システム」に採用されました、現在、英検協会が実施・運営しております、試験は全て（英検-CBT・TEAP・TEAP-CBT）、英検協会として公式の試験対策問題集はございません。したがって、本質問事項の回答と致しましては、お答えの仕様がございませんことを、どうかご理解願いたく存じます。

以上